

## 質 疑 応 答 書

工事名(件名) 創設事業の内 浄水施設 生活基盤施設耐震化等交付金事業  
第 2 期当別浄水場 No. 3 浄水池新設工事

質 問 事 項	回 答
1. 生コンクリートの単価は、北海道単価の厚田地区（当別町の一部（浜益区境界・新十津川町境界））で積算していると考えてよろしいでしょうか。違う場合は単価の出典元をご教授ください。	1. お見込みのとおりでよろしいです。
2. 切込砕石の単価は、北海道単価の当別地区で積算していると考えてよろしいでしょうか。違う場合は、単価の出典元をご教授ください。	2. お見込みのとおりでよろしいです。
3. 間接工事費算出について、設計総括表に工程区分：構造物工事（浄水場等）と記載がありますが、「令和 1 年度 水道事業実務必携」により算出していると考えてよろしいでしょうか。また、現場環境改善費は計上していないと考えてよろしいでしょうか。	3. 間接工事費算出について、お見込みのとおりでよろしいです。また、現場環境改善費についてもお見込みのとおりでよろしいです。
4. 間接工事費算出の管材費の対象額について、共通仮設費と現場管理費は管材費の 1/2 の金額が対象で、一般管理費は管材費全ての金額が対象と考えてよろしいでしょうか。	4. お見込みのとおりでよろしいです。
5. 管材費として取り扱う項目は、設計内訳書 20 頁の「水道資材（室内配管・埋込管）（内-22 号）」と「水道資材（外配管）（内-23 号）」全てと考えてよろしいでしょうか。また、他に管材費としている項目がありましたらご教授ください。	5. 管材費として計上する項目は、お見込みのとおりでよろしいです。また、他に管材費として計上している項目はありません。

<p>6. 設計内訳書 3 頁の既製コンクリート杭について、参考資料 (1) 単-132 号を例にしますが、下記はどの様に積算しているのでしょうか。</p> <p>ア) 諸雑費の対象は労務、材料、機械運転経費の全てを対象としていると考えてよろしいでしょうか。違う場合は、諸雑費の対象をご教授ください。</p> <p>イ) 機械損料 (三点式杭打機、クローラクレーン、バックホウ、アースオーガ) は全て 15 欄単価で積算していると考えてよろしいでしょうか。違う場合は使用している単価をご教授ください。</p> <p>7. 設計内訳書 6 頁の誘発目地 4 項目は、規格欄に「材料のみ刊行物単価」との記載の通り施工費は含まれていないと考えてよろしいでしょうか。また、材料は割増 4%を考慮していると考えてよろしいでしょうか。</p> <p>8. 設計内訳書 7 頁の塗布防水について、パラテックス B-2 300m<sup>2</sup> 以上 材工共は、摘要欄に札幌市単価と記載がありますが、札幌市の発注部局で作成した実勢価格調査単価を使用していると考えてよろしいでしょうか。違う場合は単価の出典元をご教授ください。</p> <p>9. 管路埋戻しについて、施工区分は機械投入のみか、機械投入+締固めのどちらで積算しているのでしょうか。</p> <p>10. 設計内訳書 14 頁の直立管据付について、遠心力鉄筋コンクリート管は摘要欄に札幌市単価と記載がありますが、札幌市の発注部局で作成した実勢価格調査単価を使用していると考えてよろしいでしょうか。違う場合は単価の出典元をご教授ください。</p> <p>11. 一式当たり内訳書 3 頁の複合版 2 項目は摘要欄に北海道単価との記載がありますが、出典元をご教授ください。</p> <p>12. 一式当たり内訳書 26 頁のダクタイル鋳鉄異形管 K 形 短管 1 号は、単-159 号にて t 当り単価で計上されていますが、Web 建設物価の水中用単価と積算資料の CC・DD 塗装単価の平均単価で積算されていると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>6. 既製コンクリート杭について</p> <p>ア) お見込みのとおりでよろしいです。</p> <p>イ) 平成30年度版 建設機械等損料表(北海道補正版)の15欄単価を採用しております。</p> <p>7. 材料は刊行物単価を採用しているという表現であり、施工歩掛も含まれております。また、通常の施工パッケージ単価の材料にm換算した単価を入力しているため、諸雑費4%は計上しております。</p> <p>8. お見込みのとおりでよろしいです。</p> <p>9. 管路埋戻しについては、水道事業実務必携の管路埋戻(機械埋戻・バックホウ)の歩掛により積算しております。</p> <p>10. お見込みのとおりでよろしいです。</p> <p>11. 北海道単価と記載のある単価の出典元は、令和2年度北海道建設部営繕工事積算標準単価表になります。</p> <p>12. お見込みのとおりでよろしいです。</p>
---	---

<p>13. 一式当たり内訳書 42 頁の運搬費について、仮設材の運搬距離は何 km で積算されているのでしょうか。また、数量の 22.4t は片道分か往復分かどちらでしょうか。</p> <p>14. 請負工事費総括表に建築機械工事、建築電気工事は軽微な工事に該当するため、主たる工事（土木工事）の直接工事費に含める。との記載がありますが、建築機械工事、建築電気工事全て経費の対象と考えてよろしいでしょうか。それとも管材費の様に経費対象は 1/2 や対象としない項目があればご教授ください。</p>	<p>13. 第26号内訳書の想定運搬距離は20kmまでにて計上しております。また、数量22.4tは往復分となります。</p> <p>14. お見込みのとおりとなりますが、建築電気に処分費が含まれておりますので、土木の処分費と合算の上算出願います。</p>
---	--